Almada

について

アルマダ
テージョ川（Rio Tejo）の南岸に位置するアルマダ（Almada）は、おそらくリスボン（Lisboa）の町を眺めるには最高の見晴らし台でしょう。なかでも最もすばらしいのは、城からの眺望、ボカ・ド・ヴェント（Boca do Vento）（「風の口」の意）のケーブルカーのパノラマ、そしてもちろん1959年に建てられたクリスト・レイ（Cristo-Rei）像からの眺めです。

過去数世紀にわたり、アルマダは宮廷の貴族たちに人気の避暑地となっていました。貴族たちの命で作られた別荘や館が、今も町にその姿をとどめています。

現在、アルマダの住民の多くは首都リスボンで働いていますが、町の暮らしは首都を中心としてまわっているばかりではありません。この町独自の活動として、演劇祭（Festival de Teatro）のようなイベントも開催されています。

コスタ・ダ・カパリカ（Costa da Caparica）は、夏の間リスボン一帯の住民にとって、格好の夏の行楽地となっていますが、ここもまたアルマダ市の一部となっています。この地域の料理は注目に値し、なかでも新鮮な魚を使ったシチューであるカルデイラーダ（caldeiradas）は美味です。この料理は、カシーリャス（Cacilhas）、ポルト・ブランダン（Porto Brandão）、ジンジャル（Ginjal）、コスタ・ダ・カパリカなどが有名です。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com